



10/13 御荘文化センターで  
愛南町戦没者追悼式

御荘文化センターで「愛南町戦没者追悼式」が行われ、先の大戦において亡くなられた方々を追悼し、平和を祈念しました。追悼の辞では、平和の大切さを訴え、再び戦禍の悲劇を繰り返さないことを固く誓いました。

10/17 青年海外協力隊員 渡邊吉子さん  
清水町長を表敬訪問  
日本とカンボジアの懸け橋へ意欲

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、平成27年からカンボジアに派遣されていた下久家出身の渡邊吉子さんが任務を終えて帰国し、清水雅文町長を表敬訪問しました。

南宇和高校を卒業後、アメリカで音楽を学んだ経験を持つ渡邊さん。カンボジアでは中高生にマーチングバンドやピアノの指導を行い、二国間の友好親善に貢献しました。

「人々との関わりのなかでカンボジアの文化や芸術、人々の素晴らしいところをたくさん学ぶことができました。11月からはカンボジアに戻って就職することが決まっているので、両国の懸け橋となれるよう努めたい」と意欲を見せました。

カンボジアから帰国して  
清水町長を表敬訪問した  
青年海外協力隊員の  
渡邊吉子さん



あんなことや、  
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.85  
「一年中、助け合い運動」



ネジリンボウとニシキテッポウエビ

歳末助け合い運動が行われる季節になってきた。互いに助け合って生きているのは人間だけではない。ハゼとエビの中には、人間が誕生する、はるか昔から助け合って生活しているものがいる。

今回の写真は、ネジリンボウというハゼとニシキテッポウエビの助け合いである。ネジリンボウという面白い名前は、ねじれた棒のように見える体の模様から付いた。このハゼとエビは、同じ巣穴に仲良く住んでいる。目のいいハゼが巣穴の外で見張りをして、穴掘りが得意なエビが巣穴を作っている。目の悪いエビが巣穴の外に出るときは、長い触角をハゼの体に密着させて安全を確保している。小さな生き物同士が助け合って、厳しい自然を生き抜いているのは、本当に感動的である。

小さなハゼは、小さなエビの巣穴に住んでいる。同じ大きさのハゼとエビがペアになっているのがおもしろい。この広い海の中で、いったいどのようにして出会っているのだろうか。

(撮影地：瀬の浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

## 10/17 「宝くじ助成事業」で神輿等を整備しました

（財）自治総合センターの「平成 29 年度コミュニティ助成事業」の補助を受け、菊川自治会（御荘）の行事等で使用する神輿等が新調されました。

この事業は、『宝くじの普及広報事業』として自治総合センターが受け入れた宝くじ収益金を財源として、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることをめざすもので、コミュニティ活動に直接必要な施設または設備の整備を行っています。



## 10/21 熱のこもった演奏が満員の観衆を魅了

御荘文化センターで音・人・食のセッションをテーマに「Jazz in 四国（愛南町）2017」（主催：同実行委員会）が開催され、訪れた観衆約 500 人を魅了しました。

4 回目となる今年は「森山威男・板橋文夫スペシャルセッション」「Keiko Lee feat.Philip Woo」「秋山一将 Trial Trip」「栗田敬子トリオ with 情家みえ」の 4 組が出演。5 時間半にわたって熱のこもった演奏を披露しました。

宿毛市から訪れた山本直人<sup>なおと</sup>さんは「去年初めて来てとても良かったので、今年も楽しみにしていた。5 時間も続くライブを楽しめるのはここだけ」と満足そうに話しました。



司会を務める「2017 ミス・ユニバース・ジャパン」準グランプリの福岡佳奈子<sup>ななこ</sup>さん



## 10/22 南高生がプロと協演 子どもたちのための JAZZ 演奏会

御荘文化センターで「子どもたちのための JAZZ 演奏会」（主催：Jazz in 四国（愛南町）2017 実行委員会）が開催され、親子連れら 250 人が一流ミュージシャンが奏でるジャズを楽しみました。

演奏会では、南宇和高校吹奏楽部が前日の「JAZZ in 四国（あいなん）2017」に出演した「秋山一将 Trial Trip」や峰厚介さん、栗田敬子さんと 2 曲をセッションして会場を盛り上げました。

ジャズ俳句では、松山市で活動する「JAZZ 句会」のメンバーが演奏に合わせて作った句が次々とスクリーンに映し出され観客を楽しませました。

プロのミュージシャンと協演した南宇和高校 2 年の田中李奈<sup>りな</sup>さんは「緊張したけど、リハーサルで声をかけてもらったので本番は落ち着いて練習通りできた。プロの方は高音の出し方や楽譜のアレンジがすごい」と笑顔で話しました。



プロのミュージシャンと協演する南宇和高校吹奏楽部





## 10/25 「宝くじ助成事業」で 牛鬼頭等を整備しました

（財）自治総合センターの「平成 29 年度コミュニティ助成事業」の補助を受け、長野地区（城辺）の行事等で使用する牛鬼頭等が新調されました。

この事業は、『宝くじの普及広報事業』として自治総合センターが受け入れた宝くじ収益金を財源として、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることをめざすもので、コミュニティ活動に直接必要な施設または設備の整備を行っています。



## 10/26 中学生がオーストラリアでの 異文化体験を報告

英語でのコミュニケーション能力を身に付けることや、異文化に対する理解を深めようと、オーストラリアで 10 日間の海外研修を行った中学生 15 名による報告会が愛南町役場本庁舎で行われました。

町教育委員会が主催する本事業では、生徒らは 8 月に現地を訪れてホームステイし、ホストファミリーとの日常生活や現地の小学校での学習を通じて国際交流に対する理解を深めました。

生徒らは海外での生活を楽しんだ様子で報告を行い、「英語でたくさんコミュニケーションをとることができた」「日本の文化に興味を持っている方がいた」などと発表し、成長した姿を見せていました。



## 10/28 重症化のサイン見落とさないで

第 6 回あいなん医療研修会（主催：あいなん小児医療を守る会）が開催され、子育て中の保護者や医療関係者ら約 90 人が参加して子どもの救急疾患や予防接種について学びました。

講演を行った愛媛大学医学部附属病院周産母子センターの太田雅明医長は、子どもの救急疾患について症状に応じた重症化のサインを紹介、「サインがあるときは早めに受診してほしい」と呼びかけました。同会会長の兵頭朝美<sup>あさみ</sup>さんは、「守る会は、愛南町の医療のためになにかできないかと有志が始めた会。これからも今日のような勉強会を通じて愛南の健康と未来のことを考えていきたい」と話しました。

あいなん小児医療を守る会では、随時会員募集を行っています。興味のある人は [ainan.mamoru@gmail.com](mailto:ainan.mamoru@gmail.com) までご連絡ください。



## 11/11～12 平成29年度愛南町文化祭が開催されました！

御荘文化センター、城の辺学習館、平城交流センターの3か所で2日間に渡って、愛南町文化協会主催による文化祭が開催されました。

発表部門では、オープニングの愛媛県指定無形民俗文化財「正木の花とり踊り」のほか、踊りや唄、演奏などの多様な発表が行われ、豪華景品の当たる抽選会も開催されました。

会場内には文化協会員の作品が数多く展示されたほか、文化センターではとんぼ玉のネックレス作りやフラワーアレンジメントなどのワークショップ、平城交流センターでは短歌大会や囲碁大会も開催され、訪れた人を楽しませました。



オープニングを飾った「正木の花とり踊り」



## 11/15～16 愛南町小・中学校音楽発表会

御荘文化センターで愛南町小・中学校音楽発表会が開催され、町内の小中学校19校が美しい演奏や歌声を響かせました。

全体合唱「アイナンデス」(15日)と「オレンジの時つ風」(16日)では、それぞれの歌を歌う庭瀬幸一郎さんと岩切愛子さんがサプライズで登場。児童生徒らと共に熱唱して会場を盛り上げました。



庭瀬幸一郎さんの「アイナンデス」を一緒に歌って盛り上がる会場



来年3月に閉校する中浦小学校は合唱「小さな勇気」で美しい歌声を響かせました